

你好

中国語を学ぶ会
 平成16年7月発行 第22号
 連絡先 Tel 33-3177
 神山 Fax 32-5594

総会と餃子の会が開かれました

去る5月16日、中央公民館に於いて16年度の総会が開かれました。

中山会長の挨拶のあと、今村さんより15年度の活動報告、会計報告などがあり、引き続き今年度の活動計画案ならびに新役員案が提案され満場一致で承認されました。

活動計画の中で目新しいものとして3クラスの交流をさらに発展させるために秋頃に「3クラス交流会」を行うことにいたしました。なにをしたら良いかについて、皆様のご意見を聞かせてください。

新役員は右の通りです。助けあって会の発展のためご協力ください。

16年度新役員

会長	中山 明弘	木曜班
副会長	野中 猛	火曜班
会計	今村 芳則	水曜班
会計監査	大河原秀夫	木曜班
役員	青木 功	火曜班
〃	小島 享子	火曜班
〃	土井 賀世	火曜班
〃	額田 幸也	水曜班
〃	井上 健三	水曜班
〃	神山 作市	水曜班
〃	後藤 肇	木曜班
〃	佐藤真智子	木曜班

当会恒例の「餃子の会」が賑やかに楽しく行われました



慣れない手つきで皮作り・・・・・・・・

4テーブルでの競作餃子は餡の種類がそれぞれで、白菜やインゲン、えびや大根などと微妙な味の違いがあって面白い。

李老師ご夫妻の見事な擀面杖(麵棒)さばき、見る見るまん丸の皮ができてあがる。それに較べて我々の作品は見るも無残なものばかり。形はいまいちでも自分で作った餃子は世界一おいしいものだ。

差し入れていただいた中華菓子や紹興酒、フルーツなどを食べながら楽しい交流の場が広がりました。今年不参加の方、来年はぜひ来てください。会話の練習にも役にたちますよ！

無錫から来たという研修生の青年が3人、中国語を忘れたと豪語するほど日本語の上手な今村さんの同事などなどを交え、各所で中国語の会話がはずみ大変勉強になりました。私のテーブルの研修生任良忠さんは無錫なまりで、たびたび听不懂…先生の正しい普通話だけを聞いている無菌室育ちの我々はもっと聴力をつけなければと痛感しました。話すことができても聞き取れなければ会話は成立しません。でも、間違っても恥ずかじがらずに話しましょう。



自分で作った餃子は 特別好吃!

「無洗米」は正しい言葉なのか

星期二班 土井賀世

中国語を学び始めて1年10ヶ月が経ち、中国語表現の奥深さをひしひしと感じると同時に日本語もなかなか一筋縄ではいかない？言語だなぁと実感すること多々あります。先日たまたま目にした本に日本語についての面白い話がありましたので、紹介したいと思います。

皆さんはどう思われますか？

<質問>

「無洗米」という言葉がある。洗わなくてもいいお米、という意味だが、洗っていないお米というようにも取れる。どちらが正しいだろうか。

<答>

どちらも正解。

不洗米というと、明らかに洗っていないお米の意味になるが、「無」という漢字はどちらにも解釈できる。

<ちょっと一言>

日本語ではこういったたぐいの、ちょっと考えると理屈に合わない言葉というのが結構ある。例えば「保証人」といったら保証する人を指す。ところが「使用人」というと使用する人ではなく、使用されている人を言う。「雇用者」といえば雇い主のことだが「雇用人」といえば雇われている側になるのもややこしい。

「虎狩り」は虎を狩ることだが、「鷹狩り」といったら、鷹を使って動物を狩ることになる。湯飲みは茶碗のことだが、酒飲みといったら杯のことではなく、酒を飲んでいる人のことろ指しているのだ。だからあまり理屈っぽく考えない方がいいのかもしれないが、ではこの洗う必要のないお米のことを、何と命名すれば一番ぴったりするのか、考えてみよう。

理屈から言えば既洗米だろうが、何となくピンとこない。中国の人に聞いたら「免洗米」というのがいいと言う。確かに「免」というのは、のがれるという意味があり、中国では「免費」というとタダということになる。だから「免洗米」というのは一番合理的ではあるが、果たして日本人にわかってもらえるだろうか。

そもそもお米に対して「洗う」という表現自体、日本人にはちょっと違和感がありそうだ。英語では確かに wash the rice だが、やはりお米は洗うではなく、研ぐと言ってほしい。一粒一粒のお米を丁寧に手で揉んで、余分なぬかを取り、ピカピカに白く光らせるという作業は、研ぐという言葉こそぴったりだからだ。

「浄米」という意見もあった。これも確かに言い得て妙だが、何となく抹香くさいような響きがある。では「研ぎいらす」はどうだろうか。しかし「研ぐ」というのは包丁などの刃物でも使う言葉なので、研がなくてもいつもよく切れる包丁と指している名称にも聞こえる。覚えやすいという意味では、「スグタケール」とか「手抜き米」といった名前はどうか。でも「スグタケール」はお米という純日本的な食物とは不似合いだし、「手抜き米」はお米自体手抜きをして作られたようで、おいしくなさそうな感じがする。

というわけで私には「無洗米」に代わるいい呼び名は思いつかなかった。文句を言うのは簡単だが、これを作った人がどれほど大変な思いをして名前をつけたか、苦勞のほどが偲ばれるというものだ。

(金田一春彦 『日本語を反省してみませんか』 2002 角川書店)

hóngsè fákuǎ n dō n 红色罚款单

遠い親戚から、あるいはあまり付き合いの無い人から結婚式に招かれても嬉しくない場合があります。

皆さんの中にも結婚式の招待状が舞い込んで有難迷惑に感じた経験をした方はありませんか。

中国人は付き合いを大事にしますから結婚式の招待状がこまめに届けられるそうです。ますます派手になる結婚式、出席するとなれば頭の痛いのがご祝儀です。中国の結婚式招待状は赤い色をしているので、冗談で「红色罚款单」(赤い罰金カード)などと言われることもあるそうです。ちょっとした友人の結婚式でも最低300元は包まなければならないので、なるべく招待状が来ないようにと祈っている人も多いとか。

下个月他结婚, 我们又接到“红色罚款单”了。“来月は彼が結婚するから、みんなのところに「レッドカード」が廻ってくるぞ。”なんて会話が聞こえてきます。

ところで、日本の結婚式に出席する男性の服装は黒の礼服に白ネクタイと決まっていますが、黒と白は中国では葬式のスタイルだそうです。国際派のあなた、くれぐれもご用心ご用心!

护照

だいぶ前のことであるが、私は少し日本語の話せる中国人と雑談をしている時、偶々海外旅行の話題となった。その時私はパスポート(护照)をフーチャオと発音したところ、その中国人は発音が間違っていると何回も直してくれた。

“hu”はローマ字読みをすれば「フ」即ち、府や付などを読むときの「フ」である。

ところが中国語のピンインの発音ではいささか違って来るのである。違いのポイントは「u」の発音にあり、解説書などによると「u」は唇を小さく丸め、舌先は下歯から離すようにして<オ>と言うつもりで<ウ>と発音する」と書かれている。

この通り試してみると明らかに“うさぎ”の“う”とは異なっていることに気付かれたことと思う。このuにhを加えてhuを発音してみると“フ”よりも“ホ”に近い音になっていることがお判りでしょう。いくつか例を挙げてみよう。

jiéhūn huānyíng kùnnán lùnwén wǔ yuè
结婚 欢迎 困难 论文 五月

どうですか、チエフン フアンイン クンナン ルンウェン ウーユエなどのように“ウ”と発音してはいませんか。外語の発音を文字で表現することは土台無理なことですが、皆さん口をすぼめて“オ”と言うつもりで“ウ”と言ってみてください。私も彼に教えてもらわなければ、ずっと“ウ”で良いのだと思い込んできたかも知れません。初心に帰って正しいピンインの読み方を先生に教えていただきましょう。

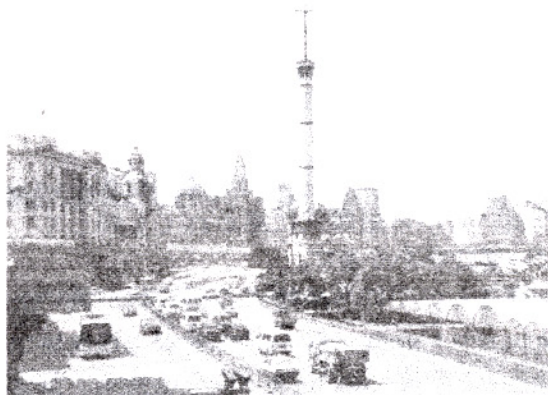
上海でニイハオ

星期三班 川合茂弘

5月下旬、上海に仕事で行く機会がありました。成田から1時間半後、窓外に見える福岡の上空を過ぎ3時間後無事到着。近代的な空港設備で入国手続きも簡単に済む。久しぶりの上海、天気が良い為か一挙に夏を感じ。

矢張り早い！

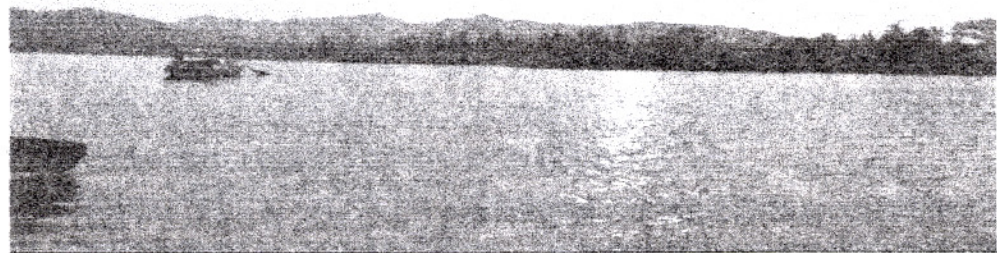
早速、上海磁浮列車（リニアモーターカー）が開通したので初乗り挑戦？空港の左奥の2階、ここから150メートルほど奥に切符売り場がある、航空券の半券を見せると40元。ここからまた改札口まで100メートルほど。開通したばかりなのか、高いからか、不安からなのか？人影まばら“次の出発は何時ですか？”“改札口は何処ですか？”と習いたての言葉で聞く、親切に教えてくれる。列車は新幹線よりずっと小さい、座席は左右3席ずつ。だが走り始めると早い。車内に速度表示板がありどんどん加速される、振動騒音は新幹線並み、制服を着た若い女性が説明を始める。距離30数キロ、速度は時速430km、約8分との事。数字と時間だけ分かった。（続けて英語でも説明）一番前に座っていたので“日本からのお客様ですか？”と聞かれる？速度表示板が時速430kmを指すとすぐ減速、あっという間の8分で龍陽路駅に到着。試験路線の為か30数キロは短すぎる。でも40元で時速430kmを体験できるので体験されることをお勧め。タクシーより割安です。



(外灘の風景)

仕事も少し！

さて、この後の仕事は上海語、これ、まるで分かりません。聞き取れる単語も一つも無くスピードも速く（リニアモーターカーなみ）、口調はきつい感じ。お願いして



杭州西湖の夕暮れ

普通語にしてもらおうと即座に切り換えてくれるものの聞き取れません。しかし普通語は語調が柔らかく感じました。通訳してくれる人も両方の言葉を混ぜこぜで話を進めます。会社の事務所（現地企業との合併形態）にいる方々は外資系の会社に勤めている事になり、上海語、電話は遠い場所とは普通語。書類は普通語、英語、日本語。こ

これらを全ててきばきこなしている。すごいな～とただただ感心してしまうばかり。浙江省だけでもいくつもの言葉があるようだ。普通語の必要性大である。

観光も少し

先ず外灘、ここは随分整備され向かい岸まで観光地下トンネル（10人乗りの電車）で有料も出来、TV塔の東方明珠がとて近くなりました。観光客で混雑。次が豫園。ホテルが選べるならこの一角にある“上海老飯店”がお勧め。ホテル全体が旧式なつくりになっていて窓にも唐草模様の木製の格子が着いています、窓から商城の一角も見えます。裏が豫園新路その先が豫園老路、街の人の生活観あふれる光景に触れることが出来ました、小籠包も食してきました。そして上海銀座の南京東路、人波とネオンで賑わっていました。品物も日本以上に豊富??安心して買い物が出来そうです。

次は何時かな？

仕事も無事終わり上海に再見！飛行場で健康カードに滞在先、帰国後の連絡先等の記入と体温測定（カメラの前を通り自動測定）し出国ゲートに、中国疲れの一眠りで無事帰国。読んで頂きお疲れ様でした、ジャジャ。

追記 ; 本屋で上海語のテキストを見るとなんとこれも中国語なのかとびっくり発音（カナ）??こんな普通語も分からないのに分かるわけねー。

你好はノンホウ、谢谢はジャジャ、再見はゼーウエ だそうです。

今年度の「中国語を学ぶ会」総会が恒例の新人歓迎会、餃子パーティーと共に去る五月十六日に開催した。この総会で今年度の役員が私を初め前年と、ほぼ同じメンバーで留任の形で決まりました。よろしくご協力の程をお願い申し上げます。会は降雨のためか前年より参加者が少なく、また新人の方も不参加とのことで少し淋しい会となりました。私たちの「中国語を学ぶ会」は学校や塾ではありません。中国語を学びたいと思う有志、その会員相互の親睦を図る会なのです。私達の会であり、自分達のための、自分達の手で運営して行く会なのです。二、三年日本経済界は中国市場へ進出すべく中国語ブームが起り続けております。屋の民放テレビ「いいとも」番組中でも中国語講座を放映して居る次第。

但し、我が会の新人募集の見学会（四月六日実施）に応募者は一名だけでした。これでは行く末が心配です。各所に中国語教室が増えたこともあるでしょうが……。私達の会は一九七二年日中国交正常化と同時に発足した三十二年も続く伝統ある会だと聞いております。皆さん、従来どおり、ただ教室に来て中国語を学んで帰る、だけでなく一人一人自分の出来ることを実行し参加していただきたい。会の運営、学習の方法を踏襲するのでなく「より楽しく、より効果的な良い方法がないか」……何を教えてもらえるかでなく、自分で何を学び取るか……役員やクラス、メイトや老師とも話し合っ、より良い会にして行きます。私達役員一同も努力いたしますから……よろしく。 会長

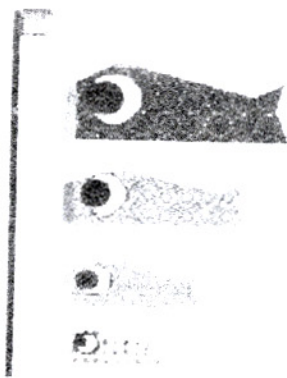
端午节

李晶明老师

每年的农历五月初五是中国的传统节日端午节。(今年的端午节是6月22日)这是纪念屈原的节日。屈原是两千年前楚国的官员，也是著名的诗人。他很热爱自己的国家，提出联合别的小国家抵抗秦国。但是国君听了小人的坏话，不信任他，把他赶出了国都。后来国都被秦国攻破了。屈原很伤心就投汨罗江自杀了。楚国的百姓划着船沿江打捞屈原的尸体。有的人用箬叶包着米饭扔进江里祭奠他。后来慢慢地形成了习俗，端午节这天举行龙舟比赛，用箬叶包粽子吃。

粽子的材料主要是糯米，用箬叶包住，再用线扎紧。有的在糯米中加肉，味道咸，叫肉粽。有的加红豆或豆沙，叫红豆粽。有的什么也不加，叫白粽，吃的时候蘸糖。现在不仅端午节的时候吃粽子，而且平时商店里也有粽子卖。

端午节 duānwǔjié 端午の節句
 屈原 qūyuán
 楚国 chūguó
 官员 guānyuán 官吏
 热爱 rèài 心から愛する
 抵抗 dīkàng 抵抗する
 国君 guójūn 国の君主
 坏话 huàihuà 悪口
 信任 xìnrèn 信ずる
 赶 gǎn 追う
 国都 guódū 首都
 攻破 gōngpò 攻め破る
 投 tóu (川に身を) 投げる
 汨罗江 mìluójiāng
 百姓 bǎixìng 人民
 划 huá 漕ぐ
 沿 yán 沿う
 打捞 dǎoláo すくい上げる
 尸体 shītǐ 死体
 箬叶 ruòyè 竹の葉
 扔进 rēngjìn 投げ込む
 祭奠 jìdiàn 弔いをする
 习俗 xíxù 風習
 举行 jǔxíng 行う
 粽子 zòngzi ちまき
 糯米 nuòmǐ もち米
 扎紧 zājǐn しっかり縛る
 红豆 hóngdòu 赤あずき
 豆沙 dòushā 小豆あん
 蘸 zhàn つける
 平时 píngshí 平素



中国电影から汉语・中国文化

星期四班 中山明弘

今年も「饺子聚会」も終わった。この会に数名の中国の方も参加ください、その中で、南方人で初めて餃子を作り食べたと言っており私は中国では祝い事、特に“大年夜”に家族全員が集まり自分達で餃子を作り食べて新年を祝うと聞いておりましたので驚きました。

中国は実に広い。「南船北馬」の文化の違いを知りました。私達の作った餃子は四種類～白菜（白菜とニラと豚肉）、萝卜（大根）、虾子（エビ）、豆荚（サヤ隠元）～で四班で競作し味合いました。どの餃子が一番“很好吃吗？ 次回には少女ディの作った“きのこ餃子”が食べたい。そうです中国映画「初恋のきた道」の中で見たあの餃子です。

村に来た廿〇才の青年教師ルオ（鄭昊チョン・ハオ）。この教養ある好青年に一目で恋に落ちたナハオの村の純情な少女ディ（章子怡チャン・ツイイー）。待望の先生が村に着任したので村の男たちは学校建設を始める。

その昼飯に少女ディは毎日一所懸命料理を作り、家の中で、せめてきれいな青花模様の碗に盛り届ける。その昼飯に「先生は一番近くの碗を取る」と聞きテーブルに並べた他人の碗をずらし、そこへ自分の青花の碗を置く。

やっと学校が建ち授業が始まり先生の食事は村の家々が毎日交替で招待することになる。やがてディの家の順番がやってきた。彼女の家は年老いた母親と彼女の二人暮らし、母親の目が不自由なため彼女が家事一切を行っている。朝早くから彼女は思いのたけを込めて料理をつくる。食後彼女は先生に碗を示し「これ覚えてる？青花の碗」と彼が自分の料理を食べたか確認しようとする。彼女の気持ちを知った彼は「うん 見覚えがある」と言うがその実はまったく覚えていない。彼女は毎日の料理を日ごとに言う。その中にきのこ餃子がある。ルイ先生は「きのこ餃子は大好き」と言って彼女の気持ちを和ませる。

夕食に向けて“きのこ餃子”をつくりはじめるディ。だが先生は右派という疑いを受けその午後町へ連れ戻される。それを知ったディは青花の碗の中でおいしそうに蒸し上がった餃子を持って馬車を追いかける。

結局、彼女は追いつけず転んで青花の碗も割れてしまう。あの「きのこ餃子」です。この映画で知ったのですが中国では瀬戸物直しがあるのには驚きました。日本では私の子供の頃「エー鑄掛直し」と呼び声で町を流してた“鑄掛屋さん”は知っていたのですが……。後で割れた碗を母親が瀬戸物直し職人を呼んで、その碗を継いでもらう。職人が“なぜこんな安物の碗を直すのか？”と問うと母親は「使った人が娘の心を持って行った。碗だけでも残してやりたい」と答えるシーンがあります。

現代の私達は大事なことを失っている。物を大切に使う、壊れたものも直して又使うところを忘れ、使い捨て時代の中で生活し「人の命の大切さ」「他人を思いやる心」「作る人への感謝の心」をも捨て去ってしまったのではないだろうか。

一人っ子政策に変化が

1970年代から始まった一人っ子政策、これに違反すると罰金が課せられるという出産制限策によって、中国では過去10年間で3億人の出生数を減らす効果があったと言われる。

このほど上海市では子供のある離婚者が再婚すると、再婚者との間にもう一人子供を生むことが許可されることになった。その規定によると、さらに夫婦双方が一人っ子の場合にも第二子が認められ、また第一子に重い障害があったり、両親どちらかに障害があって働けない場合にも第二子が認められるという。

翻って、日本の現状はどうだろうか。戦争中は“生めよ増やせよ”“富国強兵”のスローガンに踊らされ、私にも8人の兄弟がいました。

戦後は住宅事情や子供の学費、養育費の負担などの問題で小児化が進み、労働人口の減少、親の介護、年金の負担などの問題が生じて来ている。

このままでは長男や長女ばかりの世の中になってしまい兄弟喧嘩が死語となってしまうのもそう遠い日ではなさそうだ。

子供を生める能力のある人は日本の繁栄のためにも頑張ってください。

guāngyīn sì jiàn

光阴似箭と申しますが、早いものでもう一年の半分が過ぎてしまいました。

うっとりしい梅雨も真っ盛り、七夕祭りが終わると選挙ですね。皆さんも棄権はしないように信ずる人に清き一票を投じてください。

「你好」22号をお届けします。たくさんのご投稿ありがとうございました。今回は初めて写真を入れてみましたがいかがでしょうか。

次号は十月に発行の予定ですから投稿は九月の上旬頃までに早めをお願いします。パソコンのある方はメールかフロッピーで頂けると有難いです。手書きの方は句読点をはっきり書いてファックスでも結構です。

暑い夏に向かいます。皆様もお元気で過ごしてください。

本 本 族

本本族？聞いたことありますか。本の重ね型だから、しっかりと勉強する人のことをこう呼ぶのだろう、などと思ったら大間違い。

中国では運転免許は持っているが車のないペーパードライバーを「本本族」と呼ぶのだそうだ。

今、中国の若者の間で「免許証を持つだけで恰好いい」と免許取得が流行し、車を使う仕事でもないし、車を買う金も予定もないままペーパードライバーが急増しているという。俗語で免許証を「本子」と呼ぶことから派生した造語が「本本族」だ。

運転免許を取るために教習所に3ヶ月通うと約4,000元（約5万円）かかると思われるから大変な出費となる。さらに本本族を対象にした新しいビジネスも出現した。それは運転を忘れてしまわないようにと1時間400元（約5000円）でベテランが助手席に座って指導をする新サービスだ。

昨年の中国の自動車生産は440万台を突破し、世界第4位にランクされた。2020年にはマイカーが1億台を超えるると試算する人もいる。ほぼ10人に1台の計算になる。

今、中国の大都市では道路を横断しようとするには決死の覚悟が必要だ。歩行者と自転車は基本的に信号を守らないからだ。信号の無いところでも車の流れを巧みに読み取り、その間隙をぬって走るでも無く悠然と横断してしまう。だから、はねられた歩行者が宙を舞ったり、自転車がなぎ倒されたりする光景は随所に見られるという。

このようなマナーの悪さを残したまま、技術の未熟な本本族と自動車だけが増えていったら将来はいったいどうなってしまうのだろうか。

“みんなで渡れば恐くない”は中国では通用しないですよ！

くれぐれもご注意ください！